

## 中学校開校10年の検証と、今後の展望

### － 今後の10年の大口中学校の歩みを描く －

新生大口中学校が開校して、10年が経つ。

この検証報告書は、大口中学校の生徒と教職員が築いてきた10年間の歩みから、その成果を確認し、共有することを第一の目的とする。

また、今後の10年を進むうえで、現状の課題を整理し、確たる学校づくりに生かす指針を得ることを第二の目的とする。

そして、10年間の成果と課題をもって、これからの10年間で、大口中学校がどのような方針のもとで生徒を育てていくのか、その展望を明らかにすることを、最大の目的とする。

この検証報告書は、教育委員会が作成し、学校運営の指針を示すものであるが、地域社会の一般の方にも学校運営の方針をお知らせできるように意図して作成した。

「大口の子は大口で育てる」ために、学校・家庭・地域が今後の大口中学校の展望について共有する指針としたい。

大口町教育委員会

2019年3月

---

大口中学校は、次のような指針をもち新しい10年の教育活動を創造します。

---

- ① 教育目標「豊かな心とたくましい体をもち、生涯にわたって自ら学び続ける生徒を育成する」ことを大口中学校の最上位の目的とし、「大口町の生涯学習活動の拠点としての大口中学校」を創造する。
- ② 「教科センター方式」は、「生徒に最適な学習環境を提供するため、『授業』を中核に据えた学校運営方式」と定義する。「大口町の生涯学習活動の拠点としての大口中学校」を具現化するための手段であり、これを通して教育目標を達成することを目的とする。
- ③ 「ブロック活動」は、「自治・自浄能力を学ぶ場を提供するために行う、異学年で行う自治的活動」と定義する。「大口町の生涯学習活動の拠点としての大口中学校」を具現化するための手段であり、これを通して教育目標を達成することを目的とする。
- ④ 教育活動の見直し・改善は連綿と継続する。その視点は、学校の上位目的から外れていないかの観点で進め、“当たり前”とされてきたことについても、「目的」の本質を見極め、適切な「手段」を考え抜く必要がある。
- ⑤ 地域社会に開かれた学校を目指す。また、地域と協働して教育課題を解決できる体制づくりを進める。

## 目 次

### 第1章 大口中学校って、どんな学校ですか。(Q&A方式で)・・・1

- 1 大口中学校は、教科センター方式の学校です。
- 2 大口中学校は、ブロック活動が盛んな学校です。
- 3 大口中学校は、大口町の生涯学習活動の拠点です。

### 第2章 大口中学校の“うわさ話”に答えます。(Q&A方式で)・・・7

#### I 生活編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

- 1 教室移動で子どもが疲れてしまうって話を聞くけど、どうなの？
- 2 教室移動で授業に遅れてくる子がいるって話だけど。
- 3 移動するのに時間がかかるのでトイレにも行けないっていうけど。
- 4 先輩が怖くて、トイレに入れられないだけど。
- 5 教室移動で一人ぼっちになって寂しがっている子がいるって聞くけど。
- 6 自分たちの教室がないので、学級としての一体感がわからないだけど。
- 7 自分の机がないので、居場所がない。それが不登校が多い原因じゃないかな。
- 8 教師が教科教員室に分かれているので、職員間の連携が不足しているのでは。

#### II 学習編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

- 1 大口中学校の学力は低いの？
- 2 教科センター方式のせいで、生徒が落ち着いて学習に取り組めないんじゃないの？
- 3 教科センター方式って、生徒が教室移動しているだけで、あんまり意味がないんじゃないの？
- 4 教科ラウンジって、あんまり活用されていないんじゃない？
- 5 教科教員室が近くにあるのは、いつでも質問できるからという話だけど、教室移動の為、質問する時間がないだけど。
- 6 授業中に寝ている子が多いって話を聞くけど。

Ⅲ	ブロック活動編	23
1	縦学年の教室配列の為、同学年の友達ができにくいんだけど。	
2	先輩が怖いんだけど。	
3	ブロック活動って、何やっているの？	
4	ブロック活動の時間のせいで、授業の進度が遅れているんじゃない？	
5	ブロック宿泊研修って、1泊する意味があるの？日帰りでもいいんじゃない？	
6	ブロック活動に時間をかけているけど、意味あるの？	

第3章 大口中学校10年の成果と課題を説明します。・・・31

- 1 大口中学校が目指してきたこと
- 2 「教科センター方式」の成果と課題は何か
- 3 「ブロック活動」の成果と課題は何か

第4章 大口中学校の今後の10年の展望を明らかにします。・・・35

- 1 大口中学校の「最上位の目的」は何か
- 2 「最適な手段」は何か
- 3 今後の10年の展望を明らかにする

(資料編)・・・43

- 1 検証報告書作成までの経緯
- 2 教科センター方式・ブロック活動に関するアンケート
- 3 ブロック活動で身に付けたい力  
(大口中学校作成 ブロック活動の振り返り用紙：3年生)
- 4 「ブロックの日」におけるブロック長の説明原稿  
(大口中学校ブロック長作成 2019年2月21日実施)